へ13
2378
205

遠13
2378
205

東里山人作
勝川春好画

前編

去程ハ哀也女苅萱

是ハ亦

辛巳春販

耳泉堂梓行

去程ハ。是ハ亦。哀也。婦人苅萱と。表題して。加藤左衛門重氏の。事跡物語を。祭文の。章句ふ原き。院曲の。ゆ遠ふ。敷よて。女子童蒙の。瞳を。欺然し。耳を肥し。初春の。弄遊とも。素より。虚をけ〳〵。波山。言の葉山の。毅家中ふも。山意嵩の。山の段。共所でも。高野。彼所でも。かゝやと。手取。倍どりふ。賣出ん。賣出んと。吉相を。壽く而已。

文政四年辛巳春
發兌新販繪草紙

九陽亭よりく〳〵

東里山人誌

筑前國三笠郡
苟萱庄博多之

城主加藤左衛門佐
藤原朝臣重氏

○渴かろく
ありぬ
落葉の花日本
丸陽

○重氏の郎等
進物太郎善也

○重氏の儲子
石童丸
○重氏の内室
菊萱御前

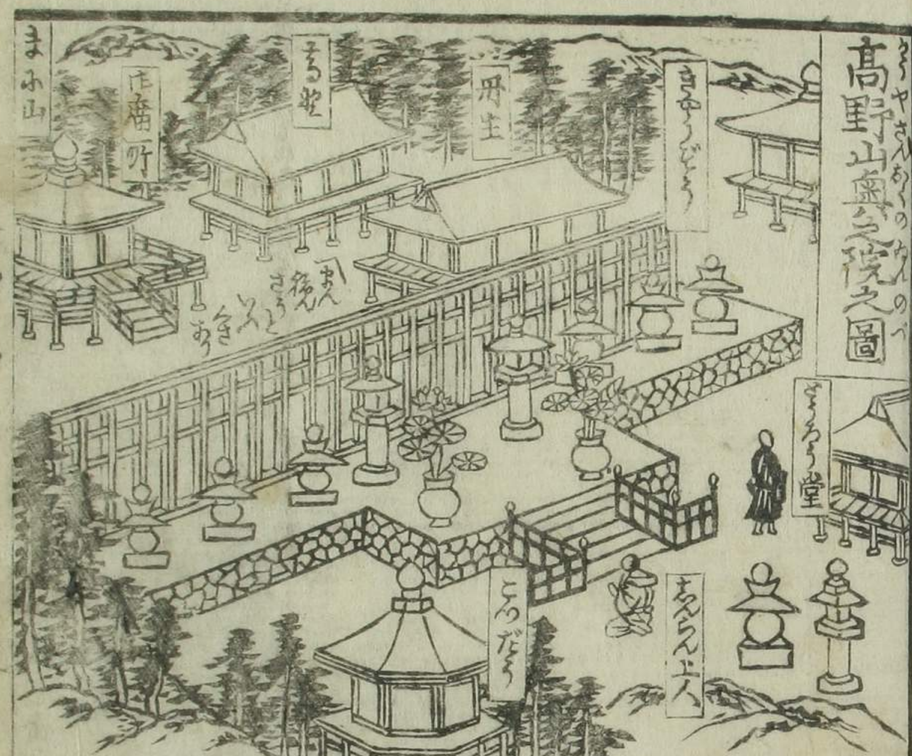
以管窺天
以蠡測海
以莛撞鐘
寸陰草や
さてひのそるものでやし
嵐雪
○重氏の家臣
東ちの主馬大路之助惡也

○筑前の国席田の城主
大宰大貳國行

○豊前の国臼杵城主
東海道
大友刑部の助

佛法僧止
啼鳥
高野山の巣
栖
是ぢでん〜
まの香
文考
○玉屋与次郎ぶ娘
籠田
別ふ〜
月日や何の
隔ふ〜
昨日ハ人の
昔ぢらん
戦人

花散在根
鳥歸古巣
花ハ根よりも
ふる巣ぞよ
かつるぞり
夫のとゞまと
ぞるんぞ
ぢゃ
○高野山梵下町の農夫
玉屋与次郎



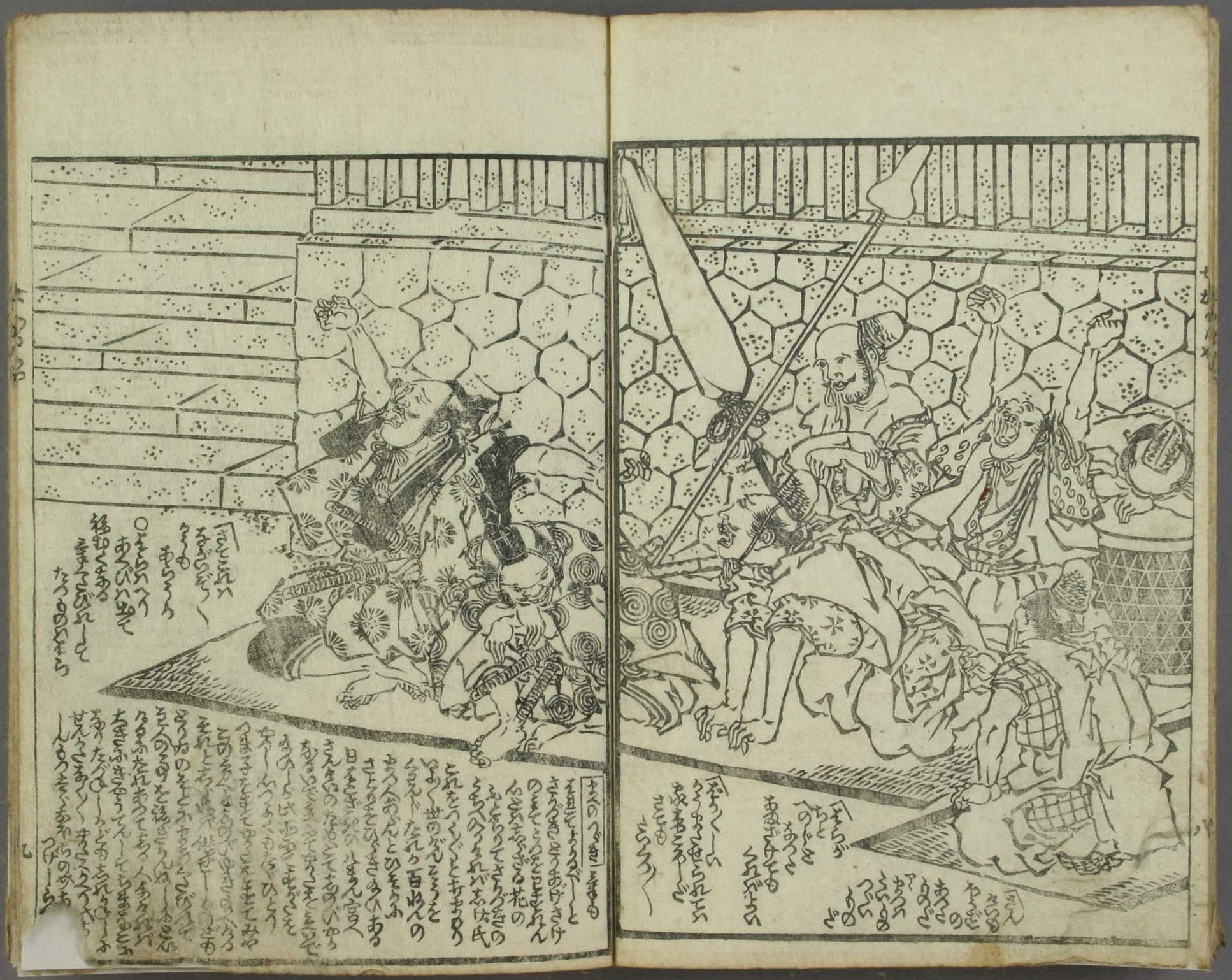
とふくろう十六代ろ系のれの浦ろうち
ぜのろみみうきどりかるろの庄ろこのぞう
ろうふかどうさうのかこ重氏といふ大名
ありかこうとかるやとぜんとやーまを二人の
いつ君ありてとんをちぞうれとうやづけとー
五ろぞあぜのよいろいい重氏いねとまう
ろうりてはぬやーろ田のぞうろ和たぞいのぐの
わぬ行のかやーてナ七ろの時武家のようろ子
どぞうろれるようてなく方れ家のいはまりある
がゆふかるろやの庄ぐうをちのまく名ふびて
かるやぐんとぐちるもく重氏二十五
ろの時みるとふやきん兄ろぎのだろふ法行と
あいうそうーみちうのたんぐをこうろん
ぐきのぐうちちく今ありろ兵ば重氏ぎん
のやまれ家のんがきろどてありがさく
ゆうけをちをさうをくきじてけよーを
兄今形ろやつげろるおくあれうろこのおれ
やろとぞぞ重氏いとが中ういうぞうぞ人が
やーつろのうちふたん生ーてまたふぬいつや
ーれてんのぞきちりあうれとぞいをりちぞ
むるりのふおくぞとふのぞあれうんろれたど
ぞうのたんぐうとてひとよーまちうろれたど
が代とあるを面人のたんぐのをたうろうとが
武ぬのおとろそーゆとぞーの武ぞふれ月
月ぬ口かーれぞるうろうふみやとへいぐり
ありやるあやいのろんとこれおうふんの
ぞうとろてふれ重氏をうろろろーまち
なのぞうとそそきちくろさんとぞをちうろる

重氏

重氏

重

重



つぎこ

ふーとゆうあきまあれども金ちいらがたぐひとりさんつの川も紀ゝの山もたれらつまごろうのあらんとんぞをきまくのちの世を祝ろんたちらやとふいろうよきちーきのあんやり子ともあつてもとけふつくはまろふきーーあるまたうひそきまるとあきらめのくたぐたびそきいたぐうたがるけんぞは)てあをもつぐぜまうらうのちぎろをあきようとひるうこれらうのちぎろをまそてかるあさけふあきふるもひをもとわてさぞと)うらとうれいんふくまてありくまどとれとるまさ紀の世のかこそくぐとあるひきうてのくと)たるきまいやーなもちーあてまをあびんとあるりれあやいあるれどもふを鬼ゆーなちゆーいうくくつまのふきまるのくのとるかくみものみいたぐあぐありとのこえのふらりとあとふあるこぐのたるづきをとんつまくものとあきりくーと)とうこもあるらぐかるやぐぜんかくぞとあーてあるきおせびむよおせきくるあるぐ川あもらくぐりふるくふるるぐうれ毎のひぐふうもぐりとうあるあてたるこれとともおおるきをるるつけどんぜあいんふもうとうあのあとをあひのふれはゆくるかるーいるおあくるをゆーげあくまる

ロ上
曲亭馬琴製
ちの巻の参
○神女湯
○侍ぎむーの巻

取次所　板元　和泉屋市兵衛

あるもの次もれりそうふいひとこののあるもぎをきてようわがあるこかふこのあーをつぐそのちあるもの次いうひてくあれりおんをとをせうあるを泉をかぐぐぐんとをそうりくれぐさをもよ紀ぐぎそ

重氏のあるくのををあるる

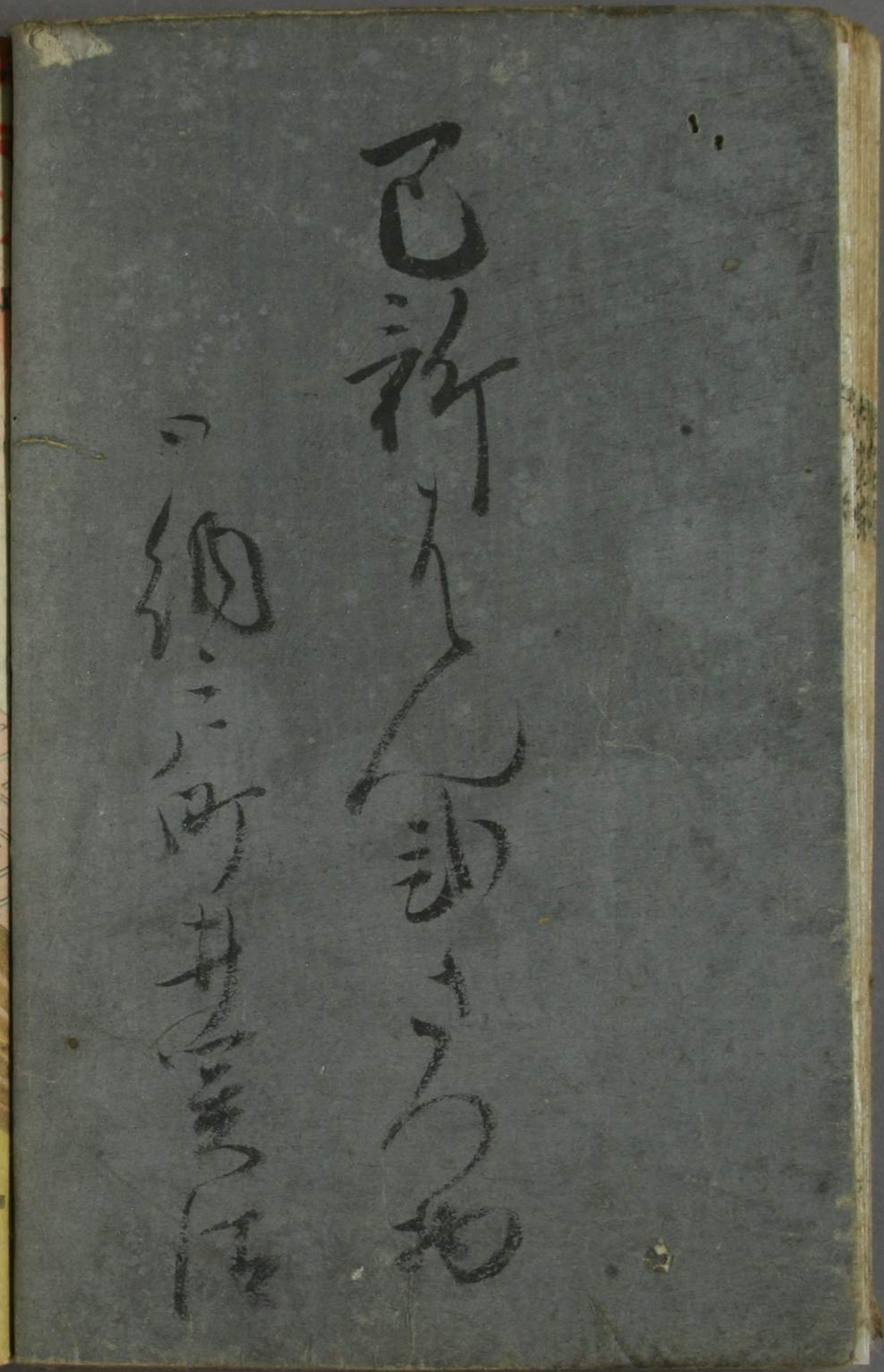
ありをとあをーるすーやあんうとあををへくこのけくちうをさぐりるんとともふちぐぐきとのすうをいをぎこをぎりり社員へ女つけて重氏のゆくえををさじうとあるるわさもんりちくくもかる大へんのいでまぐきこいつのちくぐるのふけてすををきくぎあるてんなるさもはる泉のあるうきこうをきこうりをふぐぐじ主君うをちうぐきせをのれのひとあくるかるやぐぜんとそぐらる若君るぐうんのはのくくあるくるのたるふさぐるてかはさくるのんのふとぐるきぐあくぐとあーをくりひろりむひをいくあくせひまるう君のはまくをるひふてび出やくくふのまたたをるくら

◐ぎいりしきたくーーとをるくべーーとををさぐるるるおさくしてるはくかくさををーーりをくぐるくへ重氏のおとををるくひひきくろ▲

▲るるもの次いるくへのゆくえたづぬるうもたのぐるるるるくくく

東里山人作

辛巳春
歌
をんな前賣
泉市校


已新年
御祝うたの
所作事

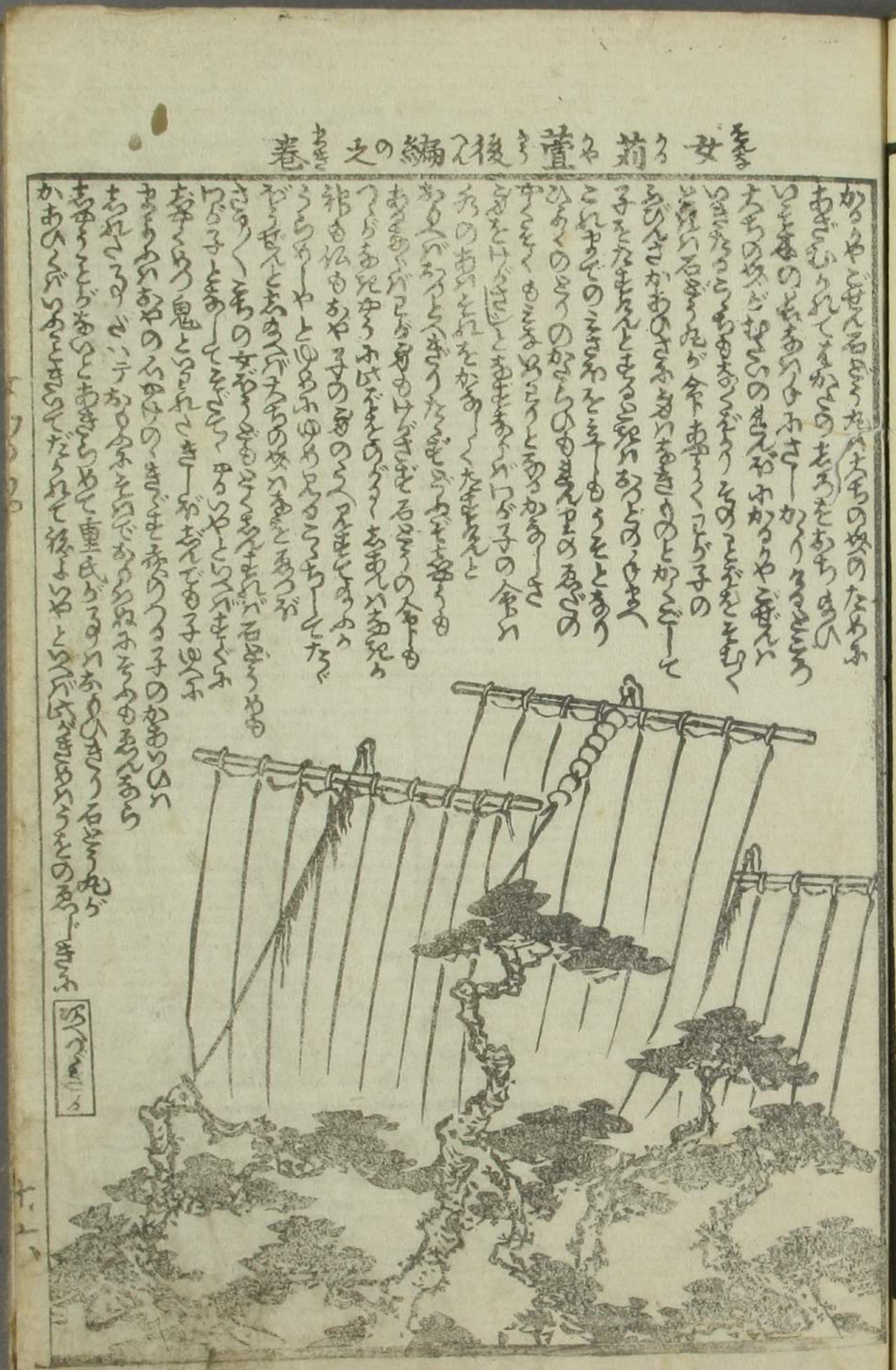
東里山人作
勝川春好画

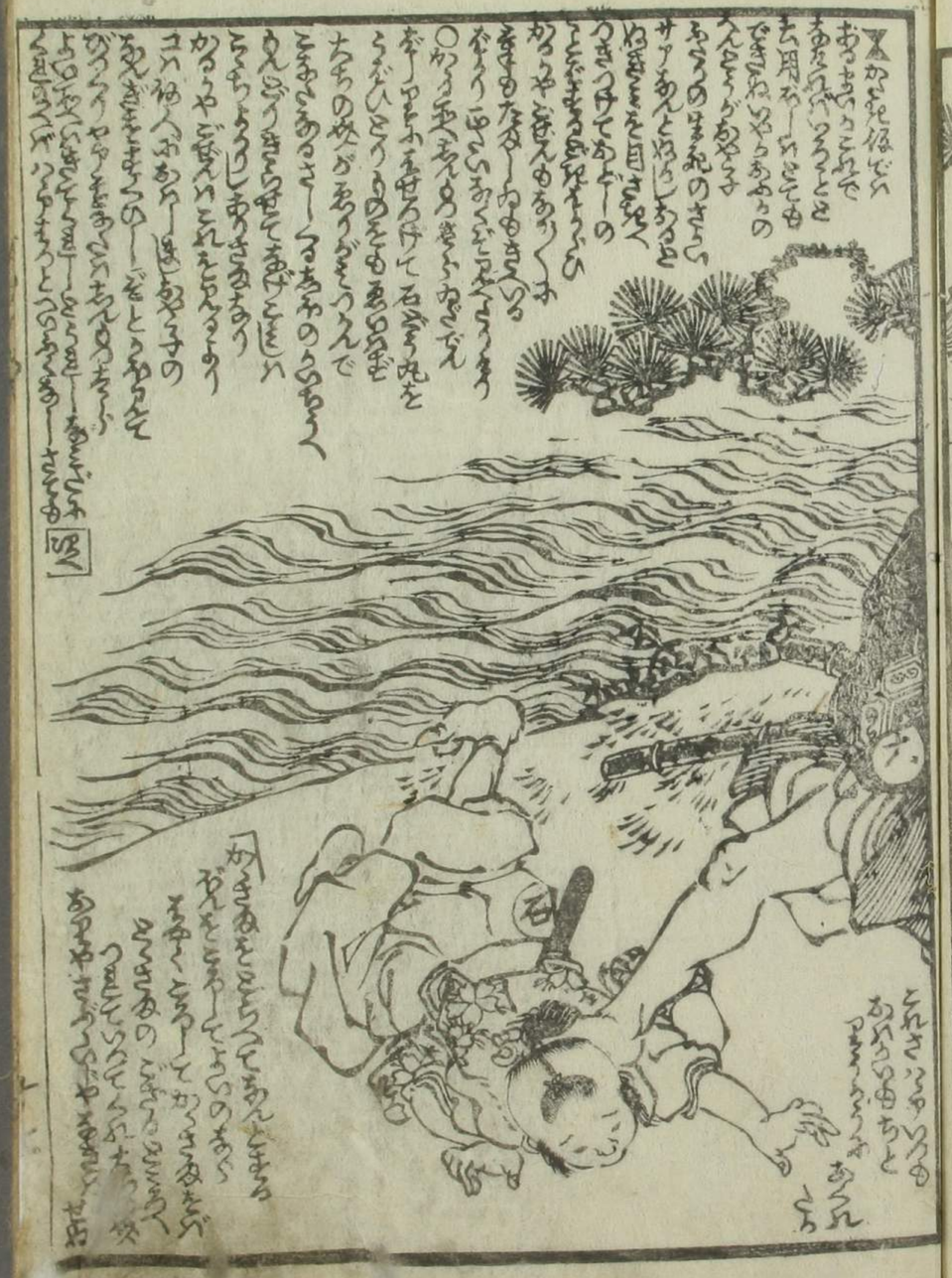
女郎花草紙

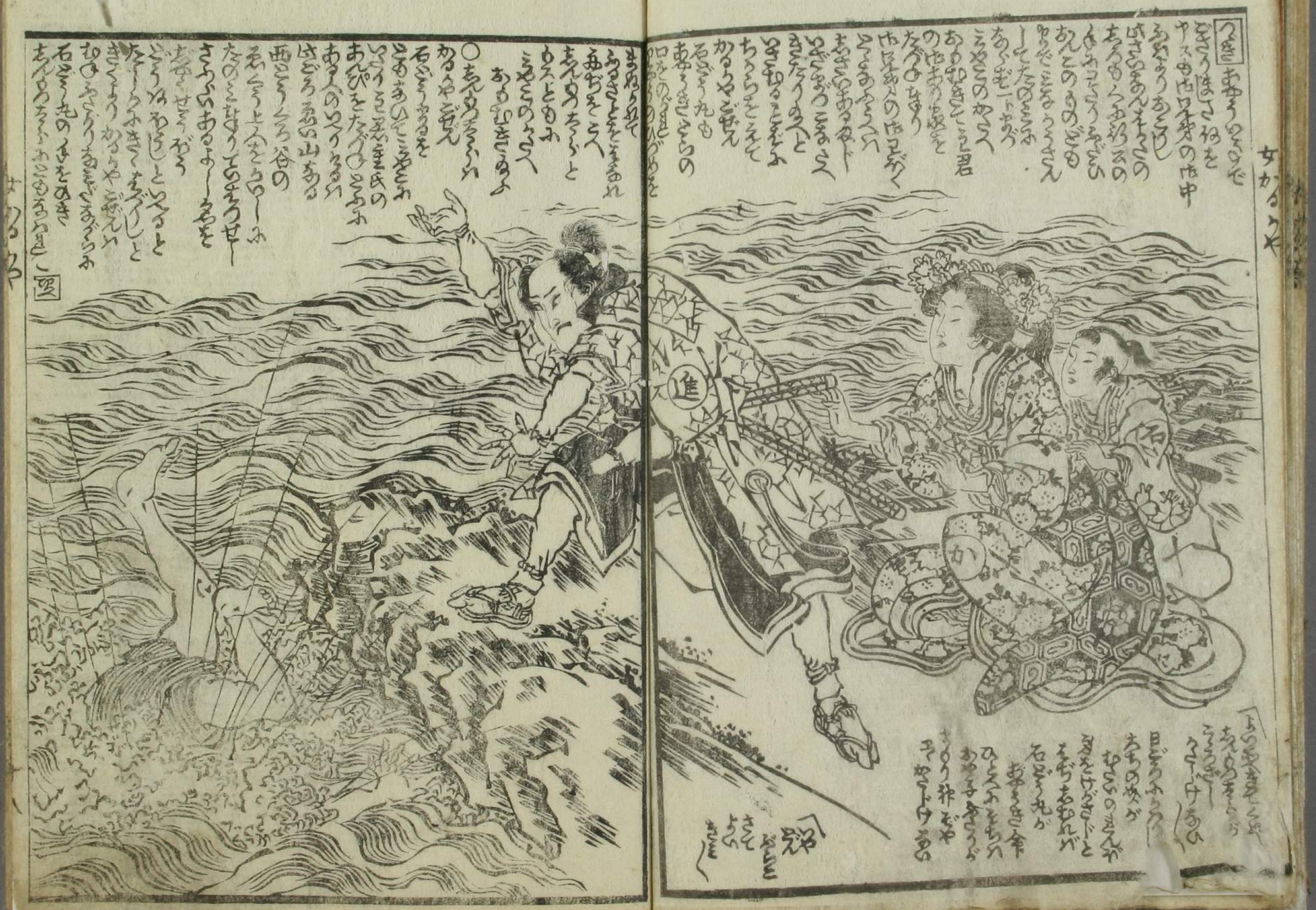
後編

辛巳春販

其泉堂梓行







つき　おあつらへのうつくしさ
ぞうほさねをやつかの中
ふかうりあこがれ
はさらあんまりさの
ちろもらふれるこの
くもかこうぞのあんこのものども
やぞこまるうさん
してたのこふ
あらいぜ一ばあ
こうやこのかくあ
あるひきこうと君
のはありあをたう
ひちまりはのはこぶく
ようあふうこ
あまこのあるかど
いぞこぶつこまこ
きたりのこと
はまるこそこふ
ちうらをこそて
かるうやこぜん
石ぞうれも
あまこきこうの
口をこのうまとの
ひうりのひびめを

よのあまきこ
あんらまこ
こうこぶ
ぐーけあひ
日どうふうこ
ちちの枝が
むこのえんが
ヨをけがきどと
えぞあれば
石ぞう丸が
あまこき傘
ひとふをもこ
あるまあこが
まりう祢ぞや
ちやとけあの
ぞとと
さとよの
きこ

まわうれて
ふうきとをこまれ
あぢをこう
ちんのちうふと
ゆことのもみ
こをこのうこ
あるひきこの
○ちんのこうふ
かるうやこぜん
石ぞうれも
こあまひこきこ
いこけうこえまこ氏の
あんぴをたがひこあふ
ある人のいこうこ
はどろえい山ある
西こうこうろ谷の
えいこうと人をこう
たのこなりこのこうせ
さふふいあるよーこを
ちやこせこぶう
こうはやしこいこと
たーこふきこまこし
きこうこうかうやこれい
ひふこうりこうこぶこうか
石ぞう丸のこをひき
ちんのちうふこのこ

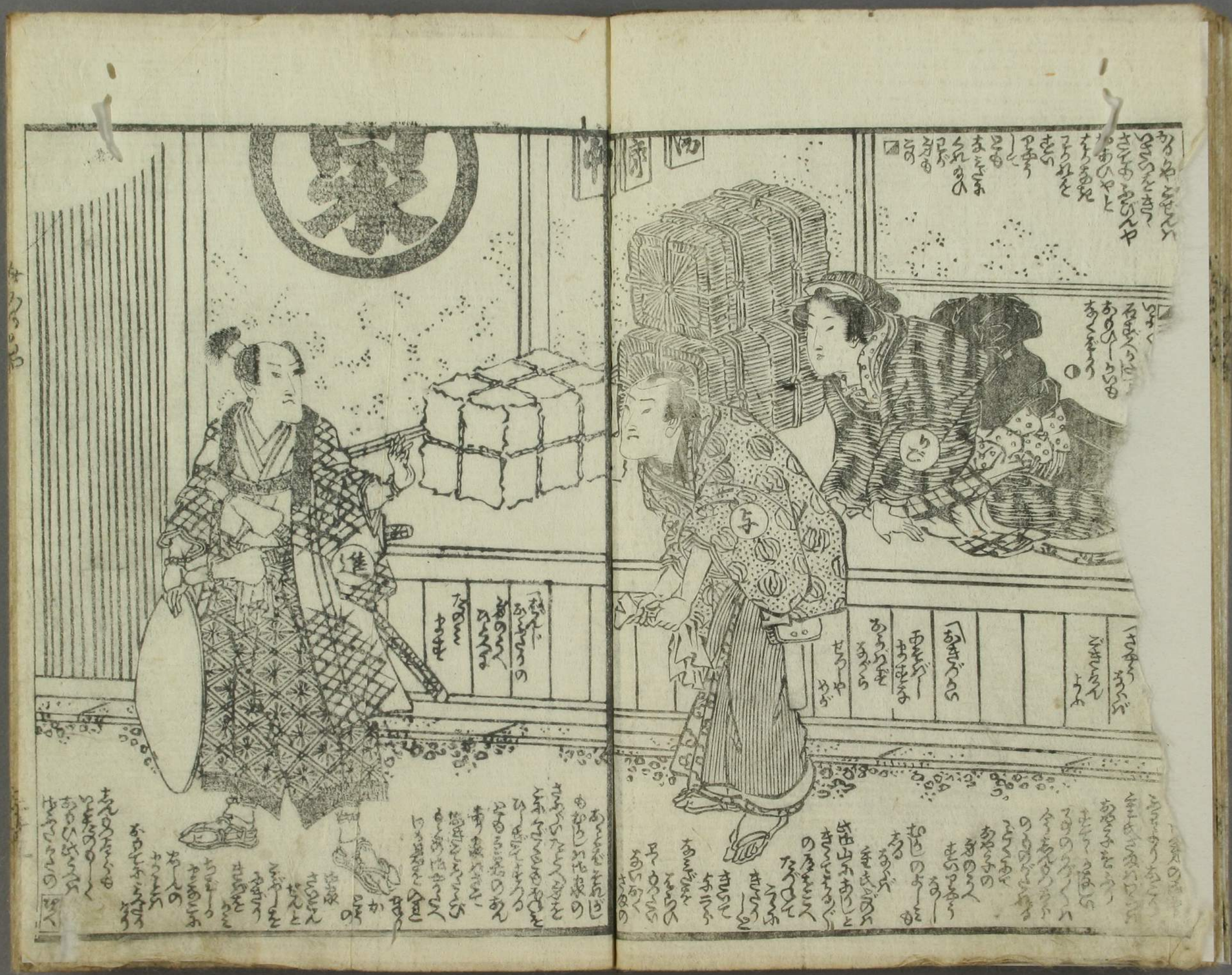
泉市領　大妻利村

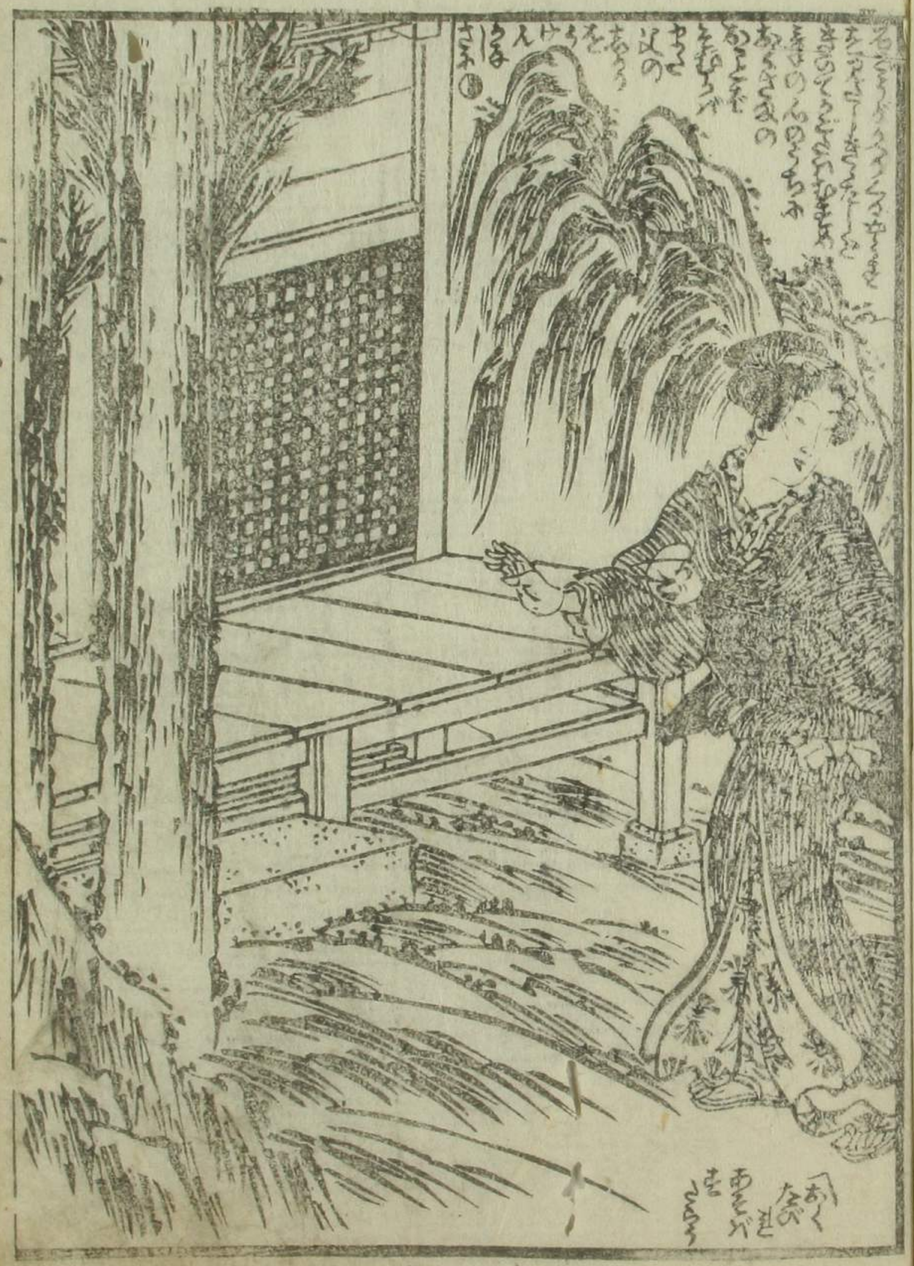
つき あくとうのやうにちうもうるさきをそんとうのくうつてきのくの人ををかうりていとるのをーいかくさをまのきふるふるふるれとまのまあさーづねどもまーていとあるどのあどとらあとろーやとらくるのまーそれより中さをちくそんーとばうーやさんのあるとまちふあり人ありんれどこふまやうふるふとありかの金をかうてきとどやあるうをのををそのあをそのうくまどえちをのとからーくとしたがわどもあくひとりのむまあをまうけてこれをかどさーとあどけちあうあひうぎうあうしれむまびーあんのうまうしやあどくもそひどびぎーてつのふあまううふあびうどどんあのゆーあひあてことーーーーあどあるあるふるふ子ーるいろんいうどけのいとうあてのーふの水をとまそいゆ紀えんふぐるといどもまどーのとーー月をまどーあびを君くこびをこひあるとどそのとのまふらいふあるぐんことをあけられんのうちみ移びひまどをらーーるる

曲亭馬琴制表　取次所　えんとと
婦人血の巡のくまろ　和泉屋市兵衛
○神女湯　○はぎ出のくまろ　○きあく丸

つき　重氏さふそのちくあるものハテいぶせしや
とーどろ日どろきさんーてゝとのさふふいふ
たちくらんとんふあるふきのひようぢ目ふ
ちとんくつるらたれあらゝたゝとのぜゝあ
かるゝうさんのかゝきゝ氏さのあくゝかる
ゝぐるーきあまぢくゝてけあきたうゝふ
ゝぐらゝあーよしあきゝとふきもつぎゝーとねの
んもあくゝゝゝさゝくゝ出てかのさふふいのゝふゝて
のくゝやゝあるゝれゝんゝもゝたゝふゝもこもふ
いたのゝちふひれゝあぜゝたんゝもゝたゝふゝもこもふ
あどろきコレハチニどのめゝらーやとれしの
よーゝゝふあゝゝゝぐもての祝いふとゝゝゝんくふ
くゝかゝゝやゝゝ貧んもよくくくゝんゝゝのて
さんもチニゝてあくつゝらひぎーゝぐゝあゝ
たのんとゝくゝけのゝふチニゝふいゝよくく
あゝゝゝんくゝちゝくコいねゝゝふこれちぞい
きたくゝのふとゝんゝあゝらゝゝくゝたゝくの
一トゝくゝんゝもゝあのてゝんゝもゝたくゝふゝもゝもゝのねゝふ
かくゝあんゝもゝぐゝふてけあゝいゝあくゝのくゝぞゝやゝれゝじ
いもゝちんゝふゝぐゝんゝゝらゝをゝくゝひとゝふゝゝめのゝくゝちゝぜくゝと
たくゝゝゝふゝかゝくゝらゝをゝくゝくゝけゝれゝゝんゝくゝちゝくゝふゝくゝを
ゝかくゝをゝゝもゝくゝ　ゝゝをのゝくれゝすゝひゝーゝゝをゝゝらゝくゝゝ出ゝゝと
ゝありゝくゝこゝゝやゝくゝをゝたゝちゝのゝぞゝけゝくゝゝゝやゝさゝんゝへゝのゝぢゝくゝゝゝふ
ゝくゝこのゝあゝくゝゝちゝぞゝくゝゝらゝふゝゝのゝゝぐゝくゝゝゝじゝてゝゝくゝくゝ
ゝくゝゝあゝくゝゝもゝたゝぐゝゝのゝたゝくゝゝふゝゝくゝゝのゝたゝちゝふゝくゝゝゝん
ゝあんゝこゝふゝぐゝゝのゝゝんゝくゝくゝゝもゝくゝまゝちゝくゝゝ

ゝゝゝゝくゝゝん
ゝゝゝゝ





毒の玉川

新

石

大

進

重

子

文政四辛巳春新繪草紙目録

立風智恵の輪　袋入全一冊　東里山人作　勝川春好画

高尾全傳菊累配羽觴　全六冊　東里山人作　歌川豊國画

女名寿右衛門　六冊　東西奔南北作　勝川春好画

雪の暑　六冊　月光亭笑寿作　勝川春好画

をんな苅萱　六冊　東里山人作　勝川春好画

かくれ里善薩池　五冊　元目楚満人作　歌川豊國画

金昆羅船利生纜　全六冊　曲亭馬琴作　歌川豊國画

六三文文車　全六冊　曲亭馬琴作　歌川豊國画

目録ニ通張ル出板賣出ハ乃相賀ゴヒヲ求ル御練別程偏奉希上ル

江戸ニ神明前　丹泉堂
和泉屋市兵衛板

大